



Topic

教職員へのヒアリング（その1）

①-1

これからの学校へのヒントがあるかも…

約3カ月間の一斉臨時休業中に思ったことや感じたこと、取り組んだことなどを何人かの教職員に伺いましたので、ご紹介します。教職員のみなさんご自身も、3カ月を振り返ってみて、これからの学校を考えてみるのはいかがでしょうか。



小学校 主幹教諭

経験 10 年以上

主体的な行動の素晴らしさ

正直、今まで経験した卒業式の中で一番感動的な時間を児童・教職員と感じることができました。式自体の制限や、保護者不在の式に向けて議論することもありましたが、保護者、教職員、児童が、それぞれの立場で卒業式のことを考えた主体的な行動が感動に結び付いたのだと思います。一人ひとりが考えて行動することの素晴らしさを実感しました。もしかしたら、私たち大人の「～しなければならぬ」と思っている感覚は見直すことができるのではないかと思いました。



小学校 教諭

経験 10 年以上

学習動画作成が大きなヒントに

一斉臨時休業期間中、教育課程委員として、学習動画の作成に携わりました。「教室の授業への架け橋になるような動画を」という思いをもって10分の動画の構想を練り上げていく過程や、同じ立場の委員さんと内容を吟味していく経験から、普段とは違った多くのことを学びました。3カ月を振り返ってみると、日頃よりも自分や学校と向き合う時間が生まれていたように思います。6月以降も日々の「アップデート」を大切に、子どもたちが安心して学べるよう努めていきたいです。



中学校 教諭

経験 10 年未満

ICT化が進みました

一斉臨時休業期間で多くの教育活動がストップしたのは残念でしたが、一方で本校では在宅ワーク中の会議をリモートで行うなど、ICT化は加速しました。教育のICT化は、リモート授業や授業スタイルの多様化を生み出す点で重要だと感じています。教員にとっても採点や課題回収等で業務効率を高め、働き方改革につながると思います。また、部活動は7月からの実施に向け、活動時間や休養日などのルールを設定しました。今までできなかった分、反動で部活動が過度にならないようにしたいです。



小学校 主幹教諭

経験 10 年以上

コロナ対策をチャンスに

「今までどおりが当たり前」に過ごしがちな日々でしたが、新型コロナウイルス感染症対策により、限られた時間を「効果的・効率的」という視点で、学校運営の全てを見直す機会にしました。そして、働き方の意識を変えるチャンスと考え、「働き方を考えるチーム」を中心に年間を通じた校内の働き方改革に関する会議・研修の予定をたてました。自分たちで自分たちの時間をつくり「子どもも大人も笑顔」で過ごせるように取り組むことにしました。

**中学校 主幹教諭**

経験 10 年以上

全教職員との情報共有

こんなときだからこそ、職員間の意識のずれが出ないように、情報共有に努めました。会議は最低限に抑え、教職員間のグループ LINE を作り、非常勤の先生や図書館司書、カウンセラーの先生を含む**全ての教職員と情報が共有できるように**しました。在宅勤務では、パワーポイントを使つての授業づくりに挑戦できたこと、ZOOM での教科会や県内外のオンラインセミナーに参加できたことは有意義でした。ただし、個人的には、**顔を突き合わせて話すよさ、必要性もまた改めて実感**しています。

**小学校 学校事務職員**

経験 10 年未満

時間のゆとり 心のゆとり

4月中旬から、職員室が見違えるほどキレイに、その流れが普通教室へと。今だからできることに時間を使うことができました。**時間のゆとりが生まれたことにより心のゆとりが生まれ**、手が回らないと思っていたことに時間を使うことができました。**やらなければいけない、ではなく、やりたいことに時間を使う**。学校における持続可能な働き方改革とは何なのかを考え直す良いきっかけとなった3ヵ月でした。

**中学校 養護教諭**

経験 10 年以上

リスクマネジメントの視点

子どもの笑顔があつての学校・・・と臨時休業中は、率直に寂しい気持ちになりました。**命や健康の重みを感じ、改めて養護教諭としての職務について、考える**時間にもなりました。やはり、何をするにも物品・予算の確保が課題となりました。緊急時に、必要なものを揃えられることが、いかに大変か、そして大切かを感じました。いざという時のために、予備を事前に確保しておくことで、**働き方(精神的負担や時間の効率)にも大きく関わる**と感じました。

横浜市立学校の
教職員の**声**教育委員会事務局に
届きます!

二次元コード



URL

今月号をご覧になったご感想、教職員の働き方に関して普段感じていることや、ご希望など、お寄せください。

電子申請システムを活用



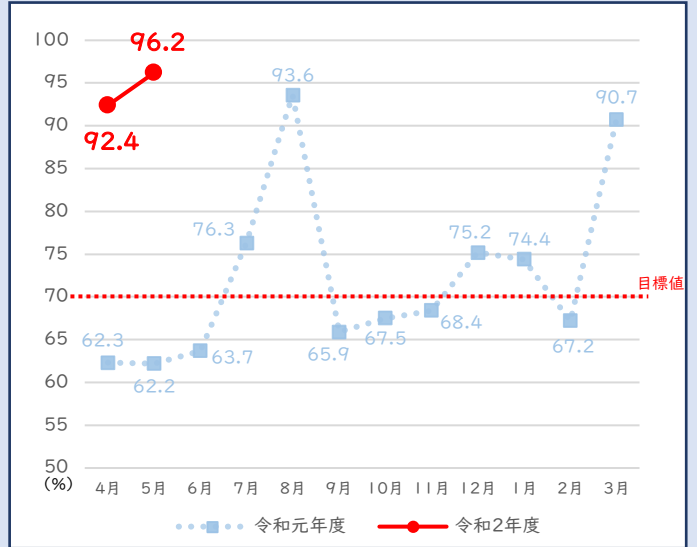
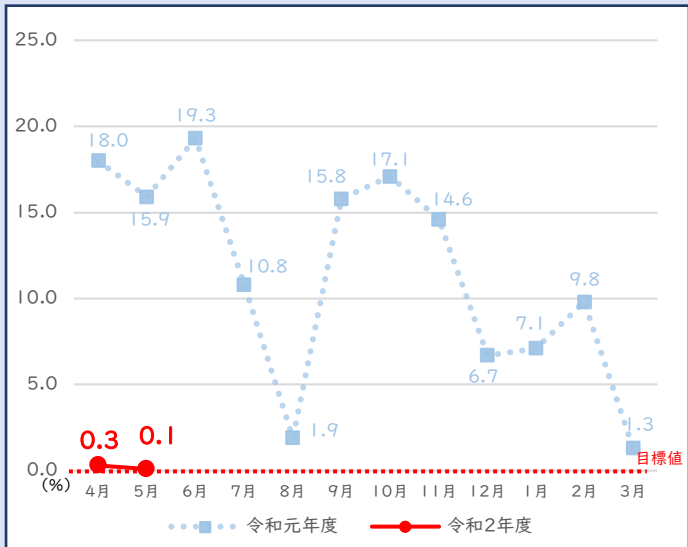
5月 時間外勤務等の実績

※令和元年度の平均値は
高等学校を除く校種の平均値となっています。

(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (令和2年6月19日時点)

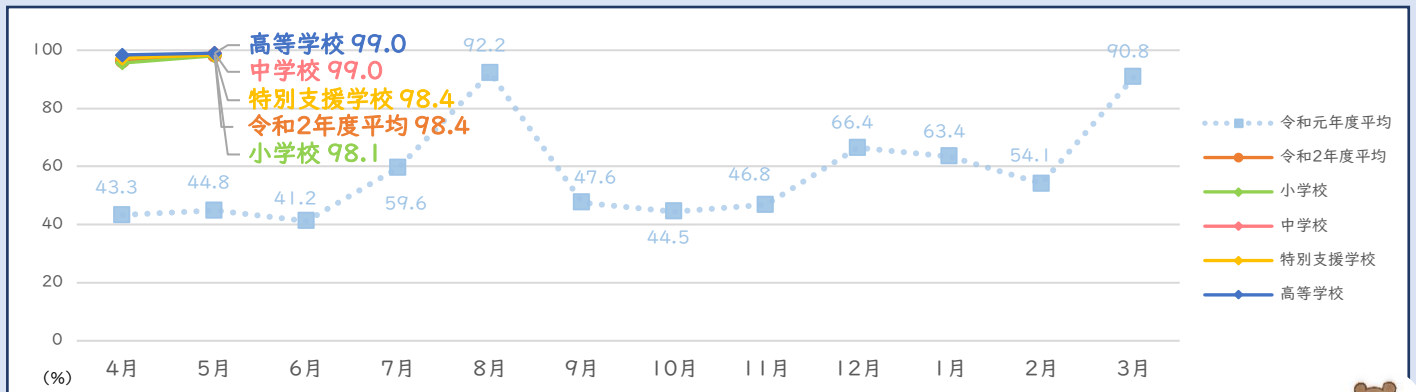
項目	目標			
時間外勤務月80時間超の教職員の割合	0%			
令和2年5月実績				
平均	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%
前年比				
😊 -15.8	😊 -7.7	😊 -35.8	😊 -1.5	—

項目	目標			
19時までに退勤する教職員の割合	70%			
令和2年5月実績				
平均	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
96.2%	95.0%	98.0%	97.4%	97.8%
前年比				
😊 +34.0	😊 +33.8	😊 +38.3	😊 +14.2	—

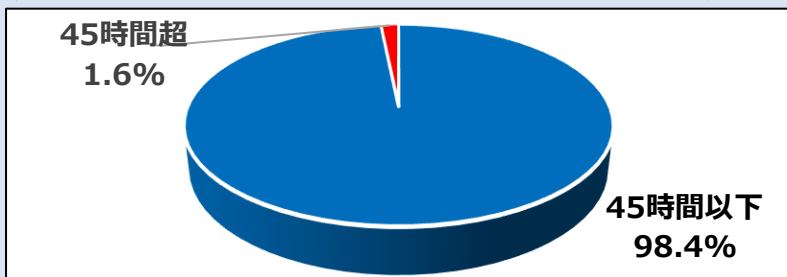


(2) 時間外勤務 (令和2年5月) の詳細

◇ 時間外勤務 45 時間以内の割合 (校種別割合)



◇ 5月の時間外勤務 45 時間以内の教職員の割合



45 時間の中に数字では表せない教職員のみ
なさんの思いがあるのではないかと思います。一
斉臨時休業期間だからこそ、特に充実してできた
こと、夢中になってできたことなどがあつたのでは
ないでしょうか。今年度も、数字だけでなく、先生
方の思いをもっと引き出してお伝えしていこうと思
います。



✓ 庶務事務システムで1か月の時間外勤務時間をチェック !!!

管理職



照会 → 帳票・データ出力 → 帳票作成
→ 服務/個人別出退勤情報 (月間)

教職員



照会 → 勤務管理 → 出退勤情報照会
→ 検索 → ダウンロード